

事業分野

文化振興

団体名

川崎市文化協会

関心のある 15のAction



これまでの取組活動

当協会の所属団体の中には、伝統文化を児童生徒に伝え、興味・関心を持って頂き、伝統文化を大切に守り育てて行く事を願って活動を続けております。また、「さきもの文化歴史風俗研究会」では、中学校に伺い、着物の歴史や着付けの仕方を伝えています。飛鳥・奈良時代から明治時代の鹿鳴館迄の衣装を写真パネルで見せております。また、礼儀の仕方として立礼の会釈・敬礼・最敬礼を伝え、実際に挨拶をしてもらいます。



「三曲協会」は、依頼があれば、小中学校に出前授業として琴の演奏を聴かせたり、弾いたりする体験授業をしております。



浴衣の着方として、毎年「歴史へのご招待」というイベントでは、中高生の浴衣着付け&マナーコンテストに挑戦して頂いております。

市制100周年に向けた取組アイデア

当協会の所属団体に、川崎郷土研究会があります。毎年「児童生徒研究発表会」を開催し、小中学生が社会科の研究として地域の歴史や産業、文化、生活などを課題を持って追求し、調べたことをまとめて模造紙3枚の作品として全市で7区で「社会科作品展」を開催します。その中で今記録に残して置かないと消滅する事などを取り上げた作品等を各区1点のみ選出し、全市で発表会を行います。毎年優秀な作品が発表されております。保護者や祖父母も出席し盛会です。この発表会を継続することにより、子ども達が少しでも社会事象を見る目が育ち、将来の生活に活かれば幸いです。



実行委員会参画団体に向けたメッセージやアピール

既にご存じの方がいらっしゃると存じますが、宮前区の初山地域に、トン森谷戸という自然豊かな森がありまして、そこで毎年音楽会を実施しております。森の中で5月～6月頃の夜に美しい音楽が奏でられます。地元の有志の方々が主宰しておりますが、自然と一体になった音楽を鑑賞するようなイベントを継続する活動を知って頂き、より多くの方々に味わって頂けたら幸いです。川崎出身の優れた音楽家もたくさんいらっしゃいます。ぜひ、様々な機会に音楽のまち・かわさきを推進して頂きたいと願っております。(平瀬川流域まちづくり協議会)